

令和3年度

## 土浦エコパートナー事業実績報告書

(報告先) 土浦市長  
安藤 真理子 様

名称 株式会社ジョイフル本田  
所在地 土浦市富士崎一丁目16番2号

### 具体的な取組事項

項目	具体的内容
省エネや地球温暖化対策活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不用時の照明消灯 (社員用トイレ、事務所、食堂等にてこまめに実施)</li><li>・ 空調温度を天候や気温にあわせて調節 (4月の空調不使用のほか、必要に応じて空を調使用)</li><li>・ 省エネ、エコにつながる商品紹介を推進 (各部門にてお客様へ提案する売場づくりを強化)</li></ul>
公害や汚染の防止、ゴミの削減、リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不要な土の回収、再生を継続実施 (ガーデン館にて回収実施、年間約10,000ℓ)</li><li>・ オフィスのペーパーレスの推進継続中 (テレワークに対応するため、樹齢の資料コピーから資料PDFスキャンにシフトし、コピー用紙を削減)</li><li>・ 分別収集の強化および段ボール・金属・木材のリサイクル (分別の徹底を継続)</li><li>・ 家電リサイクル、消火器、車バッテリー等の回収啓発 (該当売場にて継続中)</li></ul>
地域社会の環境保全のための取組 (例: ゴミ拾い, 敷地内緑化, 景観の保護, 里山の保全)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 財団法人 霞ヶ浦水質浄化推進振興財団への協力継続</li><li>・ 町内清掃行事への参加 (5/30の一斉清掃中止のため、当日は独自で店舗周辺のゴミ拾いを実施、)</li></ul>
社員への環境教育や啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ゴミの分別、減量化および店舗周辺美化の意識教育 (定期的な店舗廻り清掃・雑草の処理を実施)</li></ul>

その他（アピール事項 など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコバッグ推奨（レジ袋削減）の取り組み （簡易包装、マイバック持参が定着、9割以上のお客様がレジ袋不要）</li> <li>・棚卸作業におけるモバイル端末導入 （棚卸帳票のコピー用紙使用量を大幅削減）</li> <li>・本社社員のテレワーク推進による通勤等使用の燃料消費量削減 本社所属従業員約 200 名についてテレワーク導入、通勤車両の変量消費量で約 1kl の削減が図れた（本来は社用車利用分の一部が個人車両にて代用された分もあるため、実際はさらに削減されていると推測される。）</li> <li>・GHG（CO2）排出量の推移 令和 2 年度はコロナ対策による営業時間を短縮していましたが、令和 3 年度は通常営業に戻したことで対前年度で原油換算量が増加、また電力需給契約先の CO2 排出係数の増加もあり、CO2 排出量は前年度より増加しました。</li> </ul>				
	年度	2013	2020	2021	
	事業所	H25	R2	R3	
	荒川沖店	CO2 排出量（t/CO2）	1,619	1,164	1,489
		2013 年度比		-28.1%	-8.0%
		前年比		-9.1%	27.9%
		延床面積（㎡）	26,554	31,759	31,759
		排出量原単位（t/㎡）	0.06097	0.036651	0.046884
		2013 年度比		-39.9%	-23.1%
		前年比		-22.9%	27.9%
	本社	CO2 排出量（t/CO2）	191.4	115	137
		2013 年度比		-39.9%	-28.4%
		前年比		-19.6%	19.1%
		延床面積（㎡）	2,622	2,822	2,822
		排出量原単位（t/㎡）	0.072998	0.040751	0.048547
		2013 年度比		-44.2%	-33.5%
		前年比		-19.6%	19.1%
	2030 年までに 2013 年比 46%削減を目標にしています。				

※取組の写真等があれば添付をしてください。

※環境報告書または CSR 報告書があれば添付をしてください。

(実績報告書)